

婦団連通信

Fudanren newsletter

第13号

2025年7月1日

日本婦人団体連合会

〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷 4-11-9-303
TEL : 03-3401-6147 FAX : 03-5474-5585
URL : <http://fudanren.biz/>

参議院選挙にあたって――

いのち、くらし、平和を守り、
ジェンダー平等実現を

いよいよ参議院選挙の投票日が、迫ってきました。いのち、くらし、平和を守り、ジェンダー平等を前進させる政治への転換が切実に求められています。

後半国会では、異常な物価高騰から国民生活を守るために、消費税減税が焦点となっていました。

共同通信の世論調査（5月17日、18日実施）によれば、消費税減税・廃止を求める声は、73%にも上っています。大企業と富裕層への応分の負担で財源はつくりだすことができません。消費税を一律5%に引き下げれば、インボイスを廃止することもできます。

しかし、石破自公政権は、「消費税は社会保障財源」として、消費税減税を否定しています。これほど国民が苦しんでいるときに、あまりの無策、無責任といわなければなりません。

そして、私たちが、最も不安に思っているのが、米不足、米の高騰の問題です。米の流通や備蓄米の取

り扱いなどに焦点があたっていますが、現在の危機を招いたのは、歴代の自民党政権が、減反と減産を農家に押し付けてきたことがあります。

今、求められているのは、国が責任を持ち、供給の安定化を図ること、米増産政策に舵を切り、農家への所得補償を実施することです。

国民の願いにこたえる政治を

そして、通常国会で、最後まで強く求められたのが、選択的夫婦別姓導入のための民法の改正です。

1996年の法制審答申から30年近くとなる今国会では、「いつまで待たせる夫婦別姓」「今こそ実現夫婦別姓」の声が、国会の内外で大きく広がりました。

この声にこたえることなく、今国会での成立を阻んだ勢力には、参議院選挙で厳しい審判を下さなければなりません。

憲法、女性差別撤廃条約にもとづいた政治への転換をめざして、声をあげていきましょう。

婦団連の活動を維持・発展させるため、賛助会員としてご支援・ご協力くださいますようお願いいたします。
賛助会費は月1口（1000円）から申し受け、賛助会員のみなさまには、「婦団連通信」、「女性手帳」、催しや出版物のご案内等をお送りいたします。
申し込みはFAX等で

2025年 戦争はごめん女性のつどい

講演 「被爆80年 核兵器のない世界の実現へ飛躍を！」

講師 土田 弥生さん（原水爆禁止日本協議会 事務局次長）

日 時 8月16日(土) 14時～16時

会 場 新日本婦人の会中央本部会館2階

参 加 費 1000円

申込み 会場・オンライン参加はメールで
締め切り8月5日 e-mail : fudanren@cocoa.ocn.ne.jp

